

防災・環境啓発番組「徳島の環境 防災 まちづくり」の制作

徳島の環境防災まちづくり制作委員会(徳島大学・中野 晋, ケーブルテレビ徳島(株)・中山哲也, ニタコンサルタント(株)・杉本卓司, (株)エフエムびざん・山口雅人)

番組制作の経緯

徳島大学では「豊かな生態系を維持しつつ、災害にも安心して暮らせるまちの創造に役立つ研究と人づくり」を目標として環境防災研究センターを平成16年4月に設置している。これまでに防災士養成講座による防災人材育成やBCPの普及促進などを通じた防災啓発を続けている。一方、自然環境保全の点でも徳島県とNPO法人などと共同で生物多様性リーダー育成などにも取り組んでいる。こうした防災や環境の啓発活動の一環として平成26年度からは(一社)徳島県測量設計業協会、映像制作を手掛けるニタコンサルタント(株)、(株)エフエムびざんと協力して、ケーブルテレビ(テレビトクシマ)での配信を前提として防災・環境啓発番組の制作を開始し、平成26年7月～平成27年6月には「徳島の環境防災まちづくり」シリーズ①として、防災をテーマとした15分番組6本を制作し、ケーブルテレビ系列で放送。さらに、平成27年11月からは放送枠を30分に拡大し、シリーズ②として、防災と環境をテーマとした啓発番組各3本を制作・放送中である。

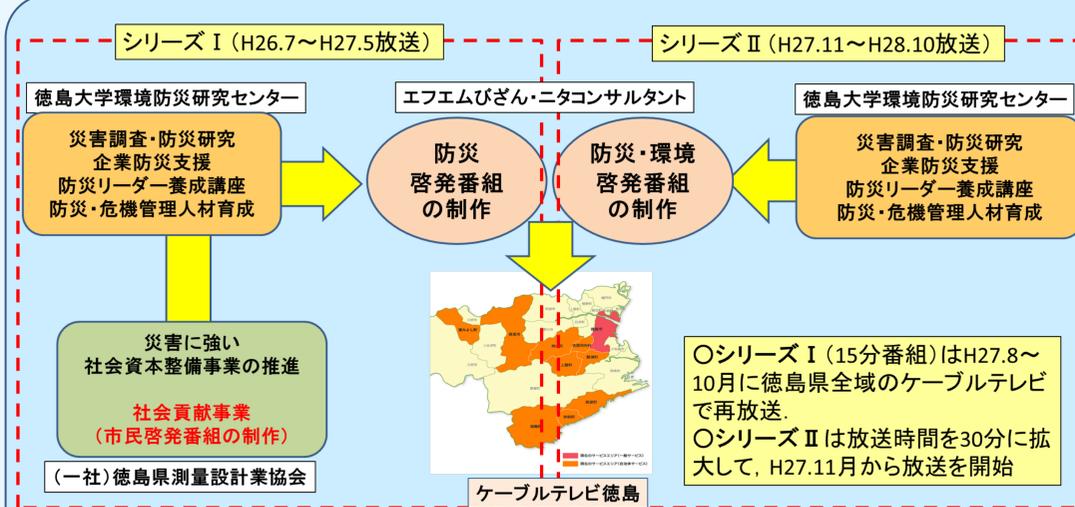


図1 番組制作の経緯と概要

番組紹介 シリーズ I ～わたしたちの防災～ (26年7月～27年6月放送, 27年8～10月再放送)

南海地震の記憶「津波碑を訪ねて」
海陽町浅川等の津波碑を巡る。出演者は徳島大学名誉教授・村上仁士氏、美波町職員・浜大吾郎氏で、徳島県南部に点在する南海地震の津波碑の代表的なものを紹介した。また、番組の最後には徳島県知事・飯泉嘉門氏から当番組に対するコメントをいただいた。

豪雨災害に備える「平成16年台風10号災害より10年」
旧上那賀町白石地区にて取材。出演者は徳島大学大学院准教授・西山賢一氏(応用地質学など)、那賀町上那賀地区の中窪さんご一家(土石流災害で被災)で、平成16年台風10号での豪雨災害を振り返って、豪雨に伴う土砂災害について伝えた。

巨大地震を迎え撃つ「南海トラフ地震と中央構造線直下型地震に備える」
美波町と三好市で取材。出演者は中野晋、徳島大学大学院教授・村田明広氏(構造地質学)、美波町木岐まちづくり協議会の皆様で、南海トラフ地震と中央構造線断層帯地震をテーマにした番組を制作した。

阪神・淡路大震災から20年「阪神・淡路大震災の犠牲者から学ぶ」
阪神・淡路大震災の犠牲者の死因分析から、建物の耐震化や家具の転倒防止の重要性を再確認する。出演者は徳島大学大学院教授・西村明儒氏(法医学)、北淡診療所長・井宮雅宏氏。

防災技術最前線
最新の測量技術や地震観測技術により被害を軽減する取り組みを紹介。出演者は徳島大学教授・馬場俊孝氏(地球物理学, 津波防災)で、潮岬沖から室戸岬沖にかけて設置が進められている地震・津波観測監視システム(DONET2)と京コンピュータを用いた最新の津波シミュレーションの現状について解説

地域で取り組む防災活動
徳島県内各地で行われている取組について取材映像に基づいて紹介した。鳴門市で行われた製造業と住民との合同避難訓練、徳島大学で実施された地域住民対象の避難所研修などである。出演者は徳島大学教員、自主防災会会員等。



第1回 南海地震の記憶



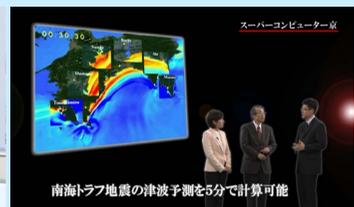
第2回 豪雨災害に備える



第3回 巨大地震を迎え撃つ



第4回 阪神・淡路大震災から20年



第5回 防災技術最前線



第6回 地域で取り組む防災活動

番組紹介 シリーズ II ～とくしまの環境と防災～ (27年11月～28年10月放送)

豪雨災害に備える「平成26年台風11号災害と緑のダム」
平成26年台風11号では那賀川の氾濫により、那賀町、阿南市を中心に深刻な浸水被害が発生しました。浸水被害の発生状況、長安口ダムや緑のダムの効果と限界について解説。出演者は徳島大学大学院准教授・田村隆雄氏(森林水文学)

人と生物が躍動する干潟
吉野川河口干潟と沖洲人工海浜に生息するカニ、トビハゼ、ルイスハンショウの生態、干潟の生物を守る沖楽会の取組を紹介。ルイスハンショウの摂餌や交尾行動を詳しく説明。出演者は徳島大学大学院教授・上月康則氏(環境衛生工学)、沖楽会会員ほか

徳島の豊かな自然を守る人々
生物多様性ととくしま会議などが主催する勝浦川流域フィールド講座を取材。溪流、里山の水田や用水路、河口干潟に生息する水生生物や野鳥、それを守る人々の取組を紹介。出演者は徳島大学大学院教授・鎌田磨人氏(生態系管理工学)

防災集団移転について考える
昭和51年17号台風は全国各地で洪水や土砂災害の爪痕を残しました。徳島県の穴吹川流域でも大規模な土砂災害を受け、防災集団移転が行われました。この災害から40年、防災集団移転のあった地を訪ね、当時の体験者からお話を聞きました。出演者は徳島大学大学院准教授・西山賢一氏(応用地質学)ほか

ホテルの舞う故郷
吉野川市美郷はたくさんのホテルが舞う地として知られています。美郷ほたる館から、ホテルの棲みやすい川の特徴について説明した後、この地区で行われている地域おこし『美郷宝探し探検隊』の活動を通して、自然豊かな故郷のあり方について考えます。出演者は徳島大学大学院准教授・河口洋一氏(河川生態学)ほか

防災技術最前線2「ICTによる徳島発防災システム」
最新の津波シミュレーション技術、地理情報システム、カーナビなどのICTを高度に活用して、地震発生後、いち早く被害情報を自治体や運転者に伝える新しい取り組みなどを紹介する。出演者は徳島大学大学院教授・馬場俊孝氏(津波防災)、徳島県・坂東淳氏。



第1回 豪雨災害に備える



第2回 人と生物が躍動する干潟



第3回 徳島の豊かな自然を守る人々



第4回 防災集団移転を考える



第5回 ホテルの舞う故郷



第6回 防災技術最前線2

-平成26年台風11号災害と緑のダム-

-ICTを用いた徳島発防災システム-

まとめと今後の課題

これらの番組について視聴者からは好意的な感想が寄せられているものの、防災や環境の理解にどの程度役立っているか把握できていない。また、地元のケーブルテレビ系列内で放送されているため、視聴できる人に限りがある。YouTubeなどのインターネットで配信することで、多くの人が視聴できる環境を整え、さらに番組内容の評価も得られるようになることが望ましいと考えている。シリーズⅢの番組については制作費用などの問題があり、制作決定していないが、ぜひ継続していきたいと考えている。

謝辞:シリーズ I では(一社)徳島県測量設計業協会のご支援をいただきました。番組には徳島大学教員をはじめ、多くの皆様に出演いただきました。ニタコンサルタント(株)映像製作室の皆様には、シナリオ作成、撮影、編集等に日夜努力を惜しまず取り組んでいただきました。こうした皆様により感謝申し上げます。

徳島の環境 防災 まちづくり シリーズ2

徳島大学環境防災研究センターの監修で、徳島の環境や防災について、身近でホッとした表情を取り上げて紹介する情報番組。毎回テーマに応じた徳島大学の先生が出演。

放送時期: 2015年11月2日(月)～2016年10月31日(月)
放送日時: 毎週月曜 9:00～、16:30～、(30分枠29分番組)
放送ch: テレビトクシマ111ch(テレビトクシマエリア内)

監修: 徳島大学環境防災研究センター
制作: ケーブルテレビ徳島 番組制作委員会
ナビゲーター: 中野晋 徳島大学環境防災研究センター長、教授
平石香奈子 フリーアナウンサー

ケーブルテレビ 088-855-4000 Pikara

徳島の環境 防災 まちづくり
～わたしたちの防災～

監修: 徳島大学環境防災研究センター 提供: 一般社団法人 徳島県測量設計業協会

放送期間	平成27年8月～10月
放送チャンネル	121ch けーぶる12 (リモコン12ボタン) 徳島県内のケーブルテレビ局の共同チャンネル
ナビゲーター	徳島大学環境防災研究センター 副センター長 中野晋 平石香奈子